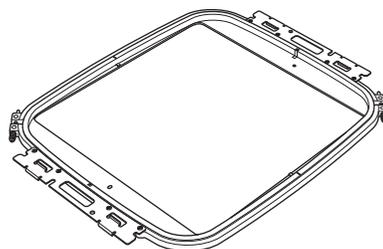


使ってみましょう 10-3 ジャンボ枠 (別売) を使って刺しゅうする

枠サイズ : 360 × 360 mm のジャンボ枠 (別売) 専用の刺しゅうデータを作ります。

注意:

- ジャンボ枠を選択すると、デザインページのサイズが 350 × 350 mm で表示されます (ミシンの内蔵カメラでの自動位置合わせに必要な領域を確保するため、サイズは 350 × 350 mm となります)。
- ジャンボ枠は、内蔵カメラを搭載した多針ミシンに取り付けてお使いください。一針ミシンなど、その他の種類のミシンでは使用できません。お使いの多針ミシンの取扱説明書にジャンボ枠の使用方法が記載されている場合は、ジャンボ枠を使うことができます。



ジャンボ枠 枠サイズ : 360 × 360 mm

メモ:

内蔵カメラと刺しゅう位置合わせシールを使用した詳しい操作方法は、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

ここで作るサンプルデータは、次のフォルダーにあります。

ドキュメント (マイドキュメント) \¥刺しゅう PRO NEXT¥使ってみましょう¥使ってみましょう_10

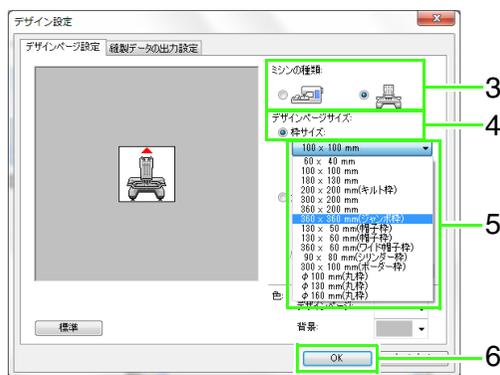
ステップ 1	デザインページのサイズを設定する
ステップ 2	刺しゅうデータを作る
ステップ 3	分割された刺しゅうデータを確認する
ステップ 4	布地に接着芯を貼る
ステップ 5	刺しゅうする

ステップ1 デザインページのサイズを設定する

- 1 1 → 2 の順にクリックします。



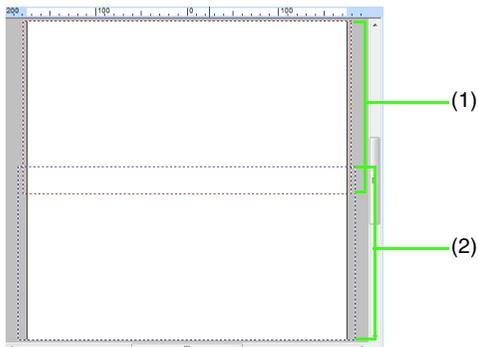
- 2 ミシンの種類 (3) で  を選択し、枠サイズ (4) を選択し、セクター (5) で、360 × 360mm (ジャンボ枠) を選択して、OK (6) をクリックします。



メモ:

お使いのミシンで使用可能な刺しゅう枠を確認してから設定してください。

- ③ 画面上のデザインページは次のように示されます。



- (1) **領域1** : 先に刺しゅうされる縫製領域
 (2) **領域2** : 後で刺しゅうされる縫製領域

刺しゅうデータは、自動的にそれぞれの領域に分割されます。

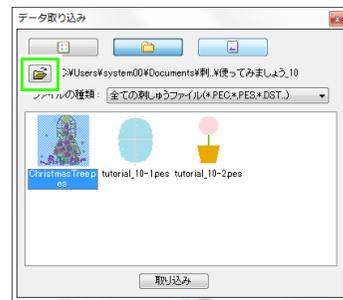
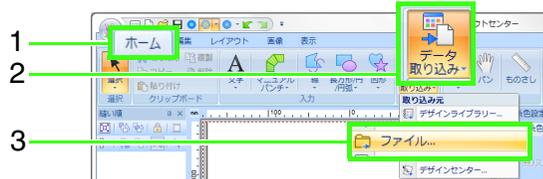
注意:

(1) と (2) の縫製領域の境界は重なりあっています。サテン縫いを使った面が、この重なった領域にかかる場合は、自動で模様が変更されます。このため、領域の境界にサテン縫いがかからないように、あらかじめ模様をずらしておくか、サテン縫いをタタミ縫いに変えておくことをお勧めします。

ステップ2 刺しゅうデータを作る

ここでは、ソフトウェアに付属の刺しゅうデータを使って説明します。

- ① 1 → 2 → 3 の順にクリックして、刺しゅうデータを取り込みます。



- ② をクリックし、**ドキュメント (マイドキュメント) > 刺しゅう PRO NEXT > 使ってみましょう > 使ってみましょう_10** を選択して、**ChristmasTree.pes** を選択して**取り込み**をクリックするか、ダブルクリックします。

ステップ3 分割された刺しゅうデータを確認する

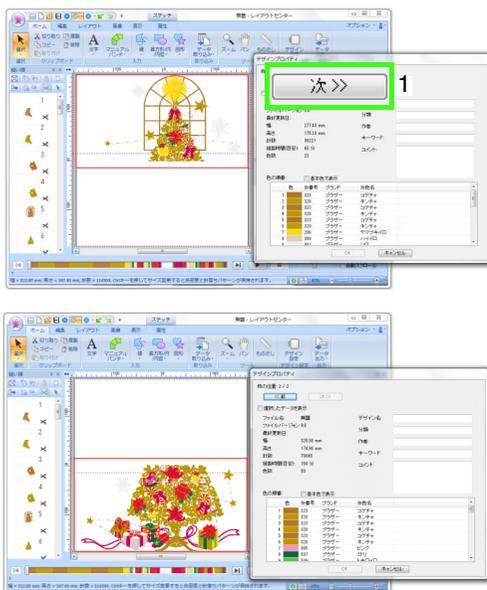
刺しゅうする前に、分割された刺しゅうデータを確認します。模様データの中の、分割されたくない部分が**領域1**と**領域2**に分かれた場合は、刺しゅうデータを調整して分割のしかたを変更できます。

- ① 1 をクリックします。



1

- 2 1をクリックして、次の領域の刺しゅうデータを確認します。



メモ:

選択したデータを表示のチェックをはずすと、もう一方の領域を確認できます。



■ 刺しゅうデータを保存する

すべての刺しゅうデータが、1つのファイル (.pes ファイル) に保存されます。

- 刺しゅう PRO NEXT 「使いかたマニュアル」 P.171 「USB メモリーを使って転送する」、P.172 「ミシンのメモリーに直接転送する」

注意:

ジャンボ枠用の刺しゅうデータは、オリジナルカードを使ってミシンに送ることができません。ミシンに付属の USB ケーブルを使うか、市販の USB メモリーを使って刺しゅうデータを送ってください。

ステップ4 布地に接着芯を貼る

刺しゅうするときは、必ず接着芯を使用してください。

大きな刺しゅうデータを刺しゅうする際は、アイロン接着タイプの接着芯や、のりの付いた接着芯、スプレーのリタイプの接着芯などを使って、布地にしっかり接着芯を貼ってください。布地の種類によって、接着芯のタイプを使い分けてください。

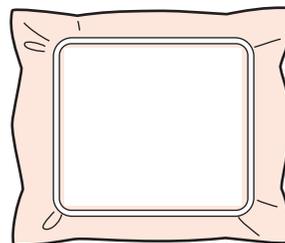
使用する接着芯は、十分な強度を持ち、さらに刺しゅうエリア全体がおさまる大きさのものを使用してください。薄手の接着芯を使用する場合は、二枚重ねて貼ってください。

- 刺しゅう PRO NEXT 「使いかたマニュアル」 P.156 「ステップ4 布地に接着芯を貼る」

ステップ5 刺しゅうする

ミシンに付属の位置合わせシールを使用して刺しゅうしてください。ミシンが位置合わせシールを検知して、自動で位置決めします。

- 1 刺しゅう枠に布地を張ります。



- 2 ミシンに刺しゅう枠をセットします。
3 **領域 1** の刺しゅうデータを選択して、**領域 1** の刺しゅうを開始します。

- 4 刺しゅうが完了したら、ミシンに表示されるメッセージにしたがって刺しゅう範囲に刺しゅう位置合わせシールを貼ります。



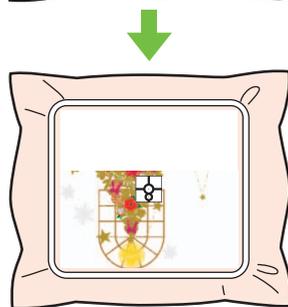
メモ:

針位置が画面に表示され、位置を検出する範囲が線で囲われます。

線で囲まれた中に、刺しゅう位置合わせシールを貼ってください。詳しい使い方は、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

→ ミシンの内蔵カメラが刺しゅう位置合わせシールを検出します。

- 5 刺しゅう位置合わせシールが検出された後、いったん刺しゅう枠をミシンから外し、180度回転させたら、もう一度刺しゅう枠をミシンにセットします。

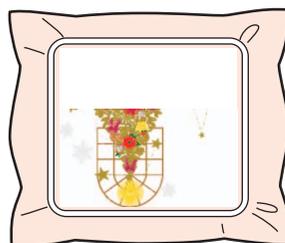


→ ミシンの内蔵カメラが、再度、刺しゅう位置合わせシールを検出します。

注意:

布を刺しゅう枠から取り外さないでください。

- 6 ミシンに表示されるメッセージにしたがって刺しゅう位置合わせシールを布地からはがしてください。



- 7 領域 2 の刺しゅうデータを選択して、領域 2 の刺しゅうを開始します。

メモ:

- 詳細は、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。
- 刺しゅう枠を外して、もう一度セットしなおすときは、十分に注意してください。刺しゅう枠が正しくセットされていないか、布地にしわが寄っていると、刺しゅうデータの位置合わせがずれることがあります。



ジャンボ枠専用の刺しゅうデータについて

- ジャンボ枠のサイズに設定されたデザインページで作成された刺しゅうデータは、レイアウトセンターの古いバージョンのファイル形式で保存することはできません。また、この刺しゅうデータは内蔵カメラを搭載した多針ミシン専用で保存されます。それ以外のミシンで刺しゅうすることはできません。
- デザインセンターの、ジャンボ枠のサイズに設定されたデザインページで作成された刺しゅうデータは、ミシン付属の USB ケーブルを使ってミシンに送ることができません。まず、刺しゅうデータをレイアウトセンターに取り込んだ後、ミシンに送ってください。